

バイコヌール宇宙基地

2021年01月18日

1961年4月12日、ユーリ・ガガーリン少佐がボストーク1号に乗って、人類初の有人宇宙飛行に成功しました。

「地球は青かった」というのは、あまりにも有名な言葉です。

ちなみに、この言葉、実は直訳すると「空は非常に暗かった。そして地球は青みがかった。」

なのだそうです。イメージが少し変わりますね。

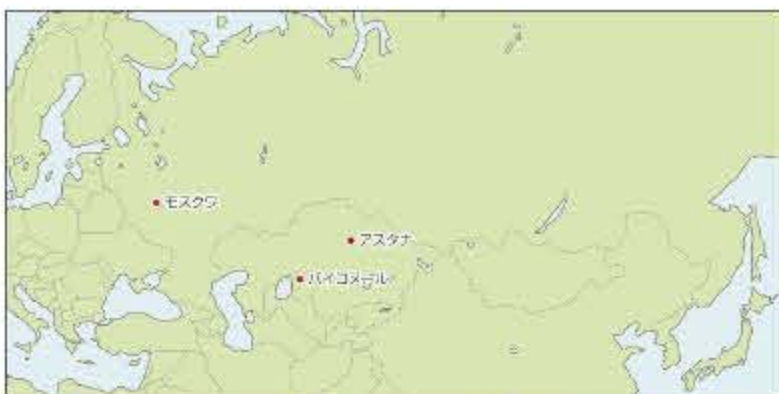
このボストーク1号が発射されたのは、1955年にソビエト連邦が建設した、バイコヌール宇宙基地でした。

バイコヌール宇宙基地は、現在はカザフスタン領土内にあるので、ソビエト連邦崩壊後は、ロケット発射場を中心に東西90キロメートル、南北85キロメートルの土地が、カザフスタン共和国からロシアにリースされています。そこでは、ロシアの法律が適用され、通貨もロシアのルーブルが流通しています。

リース契約は2050年まで結ばれていて、その年間使用料はなんと1億1500万米ドルです！（令和3年1月14日の為替レートで換算すると、約119億5000万円です！）



すごい迫力ですね！



首都名は「アスタナ」から現在は「ヌルスルタン」に改名されました！



今回掲載した画像は、(株)大陸トラベルにご提供いただきました。

こんな大迫力のロケットをいつか見に行ってみたいですね！

April 12th in 1961, Major Yuri Gagarin succeeded manned space flight on Vostok 1 for the first time. It is famous that he said, "The earth was blue" when he saw the earth from the space.

To tell the truth, the literal translation of what he said at the time is "The sky was too dark, and the earth was bluish."
The impression of the word sounds different.

The Vostok 1 was launched from Baikonur which was built by Soviet Union in 1955.

Since the Baikonur Cosmodrome is located within the territory of Kazakhstan now, after the collapse of the Soviet Union, 90 kilometers east-west and 85 kilometers north-south of the rocket launch site have been leased to Russia from the Republic of Kazakhstan. The Russian law is applied there, and the currency is also the Russian ruble.

The term of lease is up to 2050 and the annual rental fee is US \$ 115 million!

It is about 11.95 billion yen!